

赤い靴通信 407号

アメリカコロラド州のデンバー空港からホノルルに向かったユナイテッド航空のボーイング777は飛行してすぐにエンジントラブルが発生し、プロペラが炎に包まれている状況の中で機長は空港に引き返す連絡をしました。通常ですと飛行を続け、ガソリンを機体に残さない所まで無くし、火災を避けて不時着をするのですが、すでに燃えているので、火の出ている片方の翼を使って滑走路に降りる事を決意し乗客に伝えました。当然機長はその場での状況を冷静沈着にアナウンスしたことでしょう。この瞬間が死か生の分かれ道ですね。私は着陸の様子は見ていませんでしたが、乗客の大きな拍手する映像が映ったので成功したと私も安堵しました。民家の庭先に落ちた大きなプロペラリングカバーや周辺に落ちた数編の部品でも人的被害はなくオールセイフだったので。正に奇跡ですね。

昔、私が希望した日本陸軍の飛行兵とは生命観が全く違うのです。中学に入学してすぐ太平洋戦争が始まりやがて中学校は閉鎖、全員軍需工場で働き、その費用は学校に払うと言う理不尽な時代でした。その頃の子は皆死を覚悟していましたが、私は工場の機械の間で空襲のため命を落とすのでは何のために生まれたのかと言う自問自答をし、どうせ死ぬなら好きなことと言ふことになりました。友人と私は別の道を選びました。両親には相談はしないと決め自分の道を歩こうと思いました。

そのきっかけは、中区所のロビーに大きな飛行機のポスターが貼ってあり、「君こそ次の荒鷲だ」のキャッチコピーでした。私はすっかり嬉しくなり、申込書をもって絶対入学するぞと誓い、学校の近くにあるお三の宮日枝神社に毎日祈願成就のお参りしました。第一次試験は横須賀の小学校であり、第二次は東村山村にあった東京陸軍少年飛行兵学校でありました。第二次は操縦、通信、整備の専科に分かれていました。私は操縦を選びました。

ある日父親から陸軍省から手紙が来ていると言われ、開けてみると合格通知でした。既に父親にはばれていました。父親も2・26事件で有名になった麻布3連隊にいたので、ガンバレと言ってくれましたが、母親は泣いていました。中学校には事後報告になりました。それから基礎訓練、東村山村にいて、2年目は宇都宮陸軍飛行学校で実地訓練をしました。練習機が不足していません。結果的に戦争末期になって飛行機は撃墜されるが、供給されないと言ふことで、技術的にはそこまで行っているのに乗れなかったのです。特攻隊で活躍した先輩の後に続けなかつたのです。従って今に命長らえています。戦争に使う飛行機は全く目的が違いましたが、平和な時代の旅客機は世界中の人々の便利な乗り物になっていっているのです。

さて、2月11日、11時と14時の2回、関内小ホールにて「横浜市民ミュージカルメモリアル2021」未来に向かって〜の上映会が催されました。約15年間の作品の軌跡が1時間ほどに凝縮され、大変見応えのある作品になっていました。アンケートには「その当時の出演者によるナレーションのリレーという工夫が素晴らしく、タイピングも絶妙ですし、映像の長さもちょうどよかったです。かなり厳選された映像で、画像も綺麗で感激しました。」この作品ではそんなことを思いながら練習し、出演していたのね。あの子がここ数年でこんなに成長している！映像、歌、フィナーレとも素晴



このQRコードをスマホなどで読み込む事でから
横浜市民ミュージカル メモリアル
~未来に向かって~動画作品
をYouTubeで見ることができます ⇒
または「横浜市民ミュージカル」で



今後のスケジュール

- ★5/5 (水・祝)
こどもの日コンサート2021
神奈川県立青少年センター
紅葉坂ホール(座席使用 50%)
1回目 13:00~・2回目 16:30~
料金: 小~高校生 1,000円
一般 2,000円
※未就学のお子様はご遠慮ください
出演: 神奈川フィル 他
赤い靴ジュニアコーラスは映像での共演
- ★6/20 (日)
第34期
赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会
杉田劇場
ATF・青隊・赤隊I II III
詳細は後日
- ★7/22 (木・祝/海の日記念日)
第15回
中区ダンスフェスティバル
関内ホール・大ホール
①13:00~ こども中心
②18:00~ 大人中心
- ★8/7(土)・8/8(日)
横浜市民子どもミュージカル
「物語は終わらない」
関内ホール・小ホール
詳細は後日

※上記「中区ダンスフェスティバル」
「こどもミュージカル」の出演者募集
記事は広報よこはま中区版3月号に
掲載中です。

らしく編集されています。「コロナ禍だからこそ実現出来た作品ですね。」
「今日、観に来て本当に良かったです。今までの8編のミュージカルに出会えて懐かしく嬉しいです。この場所は私にとって第2の家族です。」
など出演した人も、観客として参加した人も沢山得るものがあり感動しきりでした。

動画最後の「未来への扉」の歌は、横浜市民ミュージカル全ての作品の根底に流れるテーマでもありますが、一人一人が歌詞にあるように生きる希望に満ちたメッセージに心を込めて、共にこの苦境を乗り越えようと歌っています。上映会後、YouTubeにアップして無料配信が始まりました。まだ1〜2週間なのに感動が感動を呼んで、再生回数2500回を越えました。上記のQRコードからもご覧になれます。

また、こどもミュージカルでは、2回の時間別の対面歌レッスンを赤いくつスタジオで行い、2月28日(日)に仕上げのレコーディングをしました。Pi坊先生の作詞・作曲の「ポケットソング」という新曲です。今回は18名の小・中・高生が参加しましたが、一堂に集まって歌えないので、一人一人録音し、後でミックスした歌声になります。こちら近々ご案内出来ると思います。その晩、先生より嬉しいメッセージが流れましたので、この通信でご紹介させていただきます。「初めて会う人も、久しぶりに会う人も、みんなコロナに負けず、とつても元氣そうに嬉しかったです。自宅でも練習を一生懸命してくれたのだと、声を聴いて伝わりました。みんなの素晴らしい歌声は、ちゃんときれいに録音できていますよ。これから、アップルミュージックなどを通じて配信されます。みんなの歌う歌は、コロナの世の中に明るさと元氣を与え、光かがやく作品になると思っています。また、楽曲のミュージックビデオとして、レコーディングの様子をまとめて動画を作りますので、こちらもお楽しみ！これから先、世の中の音楽文化を細らせないように、こどもたちの楽しみや、成長のチャンスをもつたいと思います。」とあり、コーラスの先生方と同じように赤い靴の先生方の熱い思いに感謝いたします。

2021・2・28
団長 松永 春